

報道関係者各位

2026/1/15

BIOTECHWORKS-H2、インドネシア大手 BOSOWA と廃棄物エネルギー化で提携
東インドネシア 2 都市で日量計 1,150 トン処理へ



廃棄物をエネルギーへ、東インドネシアで「ZERO WASTE」モデル開始
BIOTECHWORKS-H2 と BOSOWA ENER GASINDO との間で覚書を締結

株式会社 BIOTECHWORKS-H2（本社：東京都渋谷区、代表取締役 CEO：西川明秀）は 2026 年 1 月 13 日、インドネシア東部を基盤とする複合企業 BOSOWA GROUP 傘下のエネルギー事業会社 BOSOWA ENER GASINDO と、廃棄物エネルギー化（Waste to Energy、以下 WTE）事業に関する覚書（MOU）を締結した。東インドネシア最大の都市マカッサル市で日量 1,000 トン、港湾都市パレパレ市で同 150 トン、計 1,150 トンの廃棄物処理を目指す。

【提携の背景】

マカッサル市・パレパレ市では都市化に伴い廃棄物発生量が増加する一方、リサイクルや焼却に適さない有機性廃棄物の処理が深刻な課題となっている。BOSOWA は現地で固形燃料（RDF）事業を展開しているが、RDF 化できない有機廃棄物については新たな処理・活用手法を模索していた。

本提携では、BOSOWA の RDF 事業と BIOTECHWORKS-H2 の有機廃棄物エネルギー転換技術を組み合わせ、廃棄物の種類に応じた最適処理を実現する。両社にとって補完的かつ経済合理性の高い WTE モデルの構築を目指す。

【プロジェクト概要】

マカッサル市

- 処理規模：日量 1,000 トン
- モデル：大規模都市型

パレパレ市

- 処理規模：日量 150 トン
- モデル：中規模地域密着型

【今後のスケジュール】

- 2026 年 2 月：フィージビリティスタディ（F/S）開始
- 2026 年 6 月：F/S 完了後、本契約締結
- 2026 年第 3 四半期：プラント建設開始
- 2027 年第 4 四半期：プラント稼働開始予定

【BOSOWA ENER GASINDO Director Reno Junizwan コメント】

「本日はありがとうございます。この締結はマカッサル、パレパレ、そしてインドネシア全土におけるプロジェクトの開始となります。以前も申し上げた通り、このプロジェクトは非常に重要です。インドネシアには廃棄物からエネルギーを生み出すプロジェクトがまだ少ない状況です。このプロジェクトを実現できれば、少なくともインドネシア東部地域では最初の取り組みの一つとなるでしょう。両社にとって素晴らしいスタートとなることを期待しています。」

【BIOTECHWORKS-H2 CEO 西川明秀 コメント】

「BOSOWA と目指すものは同じです。インドネシアが抱える廃棄物問題とエネルギー問題、この 2 つを同時に解決する。東インドネシアで"最初の一つ"になるということは、後に続く全ての都市のモデルになるということです。マカッサルとパレパレから始め、インドネシア全土、そして ASEAN へ。BOSOWA と力を合わせて、必ず実現します」

【今後の展開】

BIOTECHWORKS-H2 は、RDF や焼却では処理が困難な有機性廃棄物をエネルギーに転換し、廃棄物処理コストの低減と再生可能エネルギー創出を同時に実現する事業を推進している。本提携を通じ、1,000 トン級の大規模都市型から 150 トン級の地域密着型まで、スケーラブルな WTE モデルをインドネシア国内および ASEAN 地域へ展開する足がかりとする。



写真 1 (左上) : MOU 締結式での BIOTECHWORKS-H2 西川明秀 CEO (左) と BOSOWA ENER GASINDO Reno Junizwan Director (右) (2026 年 1 月 13 日、マカッサル市内にて)

写真 2 (右上) : パレパレ市の廃棄物埋立処分場。本プロジェクトで日量 150 トンの処理を計画 (2025 年 11 月撮影)

写真 3 (左下) : マカッサル市の廃棄物埋立処分場。本プロジェクトで日量 1,000 トンの処理を計画 (2025 年 11 月撮影)



BIOTECHWORKS-H2®

株式会社 BIOTECHWORKS-H2

東京都渋谷区神宮前 6-18-3

神宮前董友ビル II 6 階

【BIOTECHWORKS-H2 について】

当社は「ごみ ZERO プロジェクト」として、「廃棄物から水素へ、水素から再生可能エネルギーへ」というミッションのもと、透明性の高いサーキュラーエコノミーの実現を目指しています。リサイクルができていない有機性廃棄物を独自の前処理最適化技術と IoT プラットフォームにより燃やさずにガス化し高純度水素を生成、その水素をさらに再エネルギーとして活用するカーボンニュートラルな世界を構築します。また、IoT と AI を活用したデジタルトレーサビリティシステム「REBORN」により、廃棄物処理からエネルギー利用までの全工程を可視化し、CSR 報告や Scope3 対応を可能にしています。

■ 会社概要

株式会社 BIOTECHWORKS-H2 (BIOTECHWORKS-H2 Co., Ltd.)

所在地：東京都渋谷区神宮前 6-18-3 神宮前董友ビル II 6 階

代表者：代表取締役 CEO 西川 明秀

設立：2023 年 7 月 5 日

事業内容：廃棄物から水素を生成し再生可能エネルギー化する技術開発およびライセンス事業

URL：<https://www.biotechworks.co.jp>

お問い合わせ：info@biotechworks.co.jp（広報担当：仁谷）

■ PT. Bosowa Energasindo

本社所在地：インドネシア・南スラウェシ州マカッサル市

代表者：Director Reno Junizwan

親会社：BOSOWA GROUP（1973 年創業、セメント・自動車・金融等を展開する東インドネシア有数の複合企業）

事業内容：エネルギー事業、固形燃料（RDF）製造、廃棄物処理事業

URL：<https://bosowaenergi.co.id/>

■ 報道関係者からのお問い合わせ先

株式会社 BIOTECHWORKS-H2 広報担当：仁谷（にたに）

E-mail：info@biotechworks.co.jp

TEL：03-5422-9702